

一般質問 Q & A

町政を問う

今回5人が質問し、その要約を掲載しました。

Q

農業の振興対策について

農業従事者の高齢化により耕作放棄地が年々増している。国の政策で集落営農、認定農業者を対象にしているが、これに満たない農家をどう指導していくのか。



小林 祥宏 議員

A

小規模農家については、直売センター等を通じ振興を図っていく。

Q

平成20年度の生産調整目標数量は。

A

4、310トンが示され現在とりまとめ中である。

Q

これからの農業は、行政・農協・農業者が一体となったワンフロアーでの事業を展開できないか。

A

農協と行政が一緒になって連絡調整会議等で進めていく考えである。

Q

昔のことばで「農業が栄えれば商店街も栄える」といわれたが、今も生きてるか。

A

農業が振興すれば商業、工業の地域が発展していくと認識している。

Q

那珂川沿岸農業水利事業の現在の進捗状況、さらに今後の計画は。

A

8町村が関係し、受益面積5、544ha、受益者12、651人で、事業費603億で進めている。現在御前山ダム提体工事が、ほぼ完成の予定。管路工事等は20%強で、全体の完成は平成30年度予定。

Q

この事業と霞ヶ浦導水事業との関係は。

A

特に直接関係はない。



阿久津則男 議員

ふれあいタクシーについて

利用券は紛失等の発生があるので利用券を廃止し現金化にする考えはないか。

デマンド交通を導入している市町村は、すべて利用券で行っている。

原油高であるが委託業者との契約内容に支障はないか。

当初契約書通り運行しているが更に燃料が高騰した場合、協議もしなければならぬと考えている。

町の診療所に利用者が複数で乗り合わせた場合、片道300円を往復300円にできないか。

道路運送法による許可であり利用者に差別できない。

森林湖沼環境税について

住民に対し環境税について十分な説明がしてあるのか。

県が広報等で数回掲載し、町も自治会等に回覧で知らせた。

環境税による事業で対象になる森林、河川の場合、面積、予算額は。

間伐等面積73ha(常北32ha、桂12ha、七会29ha) 予算額666万円。

森林所有者に対しての説明はしてあるのか。

今回塩子11haを予定し、地域住民には説明していきたい。

高度処理合併浄化槽が大綱、真端地区に補助対象となるが地域住民に対し説明はしてあるのか。

広報紙等でお知らせした。

那珂川が水質保全整備の対象になっていないが対象になるよう要望できないか。

状況が変わり静観しているところである。



飯村 吉伊 議員

水道未普及地域解消事業(徳蔵地区)について

現在の進捗状況並びに給水開始は。

平成20年3月31日現在で45%、19年度繰り越し分8月末に完了を含めると全体の60%が完了する。給水開始については早ければ年内

に小勝地区と徳蔵の一部170戸が給水可能になる。

水戸市消防城里出張所からの消防遠隔地域の消火対策(消火栓)は。

消火栓による徳蔵地区の消防施設整備は、19年度15基、本年度23基、最終的には徳蔵、小勝、上下赤沢、真端、大綱地区に消火栓45基設置する。消火栓の設置箇所は概ね120m〜140mの範囲を基準とする。

水戸市と城里町の合併について

旧常北町と水戸市との合併について、現在の城里町との状況は。

平成7年12月に水戸市、常北町合併協議会が設置され、平成11年2月まで15回協議が重ねられたが合併に至る合意は得られず協議会が休止となった。現在具体的に水戸市からの城里町へ合併の呼びかけはない。

今後の城里町と水戸市の合併に対する町長の考えは。

周囲の状況、また国・県との関係などから、将来の行く先、そういうものを十分検討しながら考えていく。



桐原 健一 議員

Q 肺炎球菌ワクチンの公費助成について

A 町として、肺炎球菌ワクチンについて、どのような認識を持っているのか。

A 一回の接種で免疫が5年持続する。診療所においても、肺炎にかかる、重症化しやすい人等には接種を勧めている。

Q 肺炎球菌ワクチン接種は保険適用がなく、費用が6,000円から9,000円程度かかる為、町が一部助成し、高齢者の健康維持と医療費の削減を目指しては。

A 現段階においては、予防措置として、医師の判断に基づきながら接種していく、そういうことで進めてまいりたい。

Q 5歳児健診の推進について

A 発達障害は早期発見、早期療育の開始が重要な為、5歳児健診を実施すべきと思うが。

A 現在通っている保育園や幼稚園と十分に連絡をとりながら、そういう中でスクリーニングなどによって対策をとっていくことが効果的ではないかと考えている。

Q 食中毒予防(施設改善)について

A 黄色ブドウ球菌などは調理者の手によって感染するといわれている。各給食センターのトイレを衛生的にも、ウォシュレットのトイレに改善すべきと思うが。

A 食中毒予防の観点から、今後十分検討してまいりたい。



玉川 台俊 議員

Q 後期高齢者医療制度について

A 公共施設整備基金(競輪の交付金)を活用して、国が切り捨てる年金を含め、所得が一定以下の水準にある高齢者の方々を、町が独自に保険料を助成し、救い上げる制度を新設する考えはないか。

A 国の動向を考慮しながら対応する。

Q 国保連の横領事件について町民に明快に説明すべきではないか。

A 保険者の保険料の値上げなどの新たな負担が生じないように解決を図る。

Q 行政サービスの向上について

A 利用者の立場から、桂図書館の「祝日は休館日」の規則を改正して「祝日を開館日」にすべきではないか、また、県立図書館並みの開館時間の延長は考えられないか。

A 改正して祝日は開館、また開館時間の増を図っていく。

Q 入札に関して

A 予定価格を示さず、再入札までしながら、不調となった理由はなにか、予定した業者が落札できないので、不調にしたとも思われるが。

A 官製談合の誘導については、審査委員会に厳重に点検を指示してあるが、結論的な返事がまだない。

Q 予定価格を示し、透明性のある入札を行うべきではないか。

A 今後は予定価格を示していく。